子どものために　子どもとともに　保護者・地域とともに歩む　桃二小

桃二

－ 学校便り －

<教育目標>
◎ 考える子
○ 思いやりのある子
○ 元気な子

<桃二小ホームページ> http://nk-momo2-e.a.la9.jp/

～開校102周年～
令和6年1月31日（水）
No. 13（2月号）
中野区立桃園第二小学校
校　長　　山崎　義弘

アンケートを生かして 桃園第二小学校のさらなるアップデートを！

副校長　計良　真美

地域行事の復活

令和５年度も残り２か月となりました。「子どものために　子どもとともに　保護者・地域とともに歩む桃園第二小学校」を合言葉に、「考える子」「思いやりのある子」「元気な子」の教育目標の達成を目指して、令和５年度も様々な教育活動を行ってまいりました。今年度は新型コロナウィルス感染症が５類感染症の位置づけになり、これまで以上に地域や外部の方を招いての体験的な学習を多く取り入ることができ、また地域の行事が復活したことで、子どもたちや教職員が一緒に参加し親睦を深めるなど、これまでできなかったことを生かした教育活動を進めることができました。

中でも３年生の「総合的な学習の時間」では、地域学習を充実させることができました。地域の盆踊りや氷川神社例大祭、ラジオ体操などの行事、地域のお店、地域を支える町会の人の思いを自らテーマを決めて調べ、それぞれがまとめたことを発表し合い、地域の理解を深めることができました。町会の方へ直接インタビューをして地域を思う気持ちに触れたり、一緒におみこしを担いでおまつりを盛り上げたりしたことは、地域を愛する気持ちを培う上で、何にも勝る素晴らしい体験だったと思います。

展覧会～モモニーランド～　大成功！！

もう１つ大きな成果がありました。それは１２月に行った「展覧会～モモニーランド～」です。子どもたちの素晴らしい作品が展示されるだけでなく、子どもたちが「やってみたい！」と考えたことを、計画を立て、みんなで協力して取り組み、やり遂げることができました。モモニーランドの成功を支えたのは日々の教育活動だと考えています。計画を立てること、役割分担をしながら協力して取り組むこと、上手くいかない時は意見を出し合いながらより良くしていくことなど、日々の学習で身に付けた力が発揮され、自分たちで納得するものを創り上げることができました。子どもたちがやりたいことに向かうエネルギーは想像以上です。だからこそ、毎日の授業の中で子どもたちが「やってみたい！」と思うようなわくわくを私たち教職員は考えていく必要があるのだと痛感しました。

学校教育に関する保護者アンケート

※全項目の結果については、折り込みページ参照

１１月に「学校教育に関する保護者アンケート」を実施しました。２９８家庭のうち１９４家庭の回答をいただきました。お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

今年度のアンケートの結果、肯定（十分・まあ十分）が８０％を超える評価をいただいた項目が、３０項目中２２項目ありました。その中でも次の１２項目については、ほぼ９０％もしくは９０％を超える高い評価をいただき、嬉しく思います。これからも続けてまいります。本校の教育活動へのご理解とご支援に感謝申し上げます。

		（肯定）
１	お子様は、学校生活を楽しく過ごしている。	92%
５	学校は、児童に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている。	89%
８	学校は、健康づくり、体力づくりを進めている。	88%
１２	学校は、児童に社会のルールを守る態度を育てている。	90%
１５	学校は、地域・保護者と協力しながら子どもを教育している。	93%
１６	学校は、学校公開の機会や学校だより、ホームページなどで、学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている。	93%
１７	学校は、子どもや保護者の悩みや相談に応じている。	93%
１８	学校は、子どもの安全を守るための取組を行っている。※いじめや不登校も含む。	90%
１９	学校は、熱意をもって指導に取り組んでいる。	88%
２０	教職員は、来校時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。	95%
２３	学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。	90%
２４	学校は、土曜授業の実施方法を工夫するなどして、教育内容の充実に努めている。	90%

また、肯定が７０％未満となる項目が、３項目ありました。特別支援教育や保幼小中連携教育については、否定（不十分・やや不十分）より「分からない」の回答が多く、「分からない」の回答が２０％ほどとなっていました。これらの結果は真摯に受けとめ検証し、改善できるようにしていきます。また、「分からない」と感じていらっしゃる方が多い内容については、お伝えする機会を多くするなどして、ご理解いただけるよう努力してまいります。

	（肯定）
22 学校は、特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明を行っている。	61％
27 学校は、保幼小中連携教育のねらいや様子を、保護者に分かりやすく伝えている。	64％

タブレットドリルの活用については、学校便り１月号でもお伝えしておりましたが、今年度はデジタルドリルを使用することで、子どもたちの学力向上と個別最適な学びの実現に向けた方策を検証しました。次年度に向けて保護者の方のご意見やデジタルの利点、子どもたちのデジタル機器活用能力の向上等を踏まえ、子どもたちの学力向上に向けて何が最適か、総合的に検討してまいります。

記述でのご意見もいただきました。ありがとうございました。

令和６年度も、保護者・地域の皆様に信頼され愛される桃園第二小学校であり続けられるよう、保護者の方や子どもたちの意見を生かして、よりよい教育活動に取り組んでまいります。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

いただいたご意見について

〔タブレットや子どもの居場所づくりの要望等、区へのご意見については、まとめて区へ伝えさせていただきます。〕

【学校生活の様子やトラブルがあった時について】

〇学校のクラスや学童が毎日楽しい!と言っています。いつもご指導や見守りをありがとうございます。校長先生や先生方が楽しく、熱心で、根気強く丁寧に指導してくださっていると思います。

▲クラス内でトラブルがあると、すぐに聞き取りを行う点はよいが、十分に聞き取りが行われておらず、子どもたちに「何が悪かったのか」全く理解できずに同じようなトラブルが起こる。そのことについて教員だけが話し続けているため、子どもたちは「十分に話せなかった」と言っていることがあったので、担任以外が聞き取ってほしい。

学校より ありがとうございます。十分に聞き取れていないという思いをもたれることになり、申し訳なく思います。子どもたちが安心して楽しく学校生活を送れるよう、努めております。いじめだけでなく、トラブルの解決については、学年など組織で取り組み、複数の教員で子どもの話を寄り添いながら納得するまで聞いています。また、いじめ防止については、未然防止、早期発見、早期対応に努めます。全教職員で、全ての子どもを見て、話を聞き、助け、守り、学校が安心して過ごせる居場所となるようにしています。引き続き子どもたちの話をよく聞いてまいります。

【情報発信について】

〇何かある度に、スママチでご連絡くださりとても助かっています。地域のお祭り等にもいつも先生方が出席してくださり、子どもに対しての熱心さを感じます。他の学校の話をきいていても、桃二でよかったと思える学校です。

▲保護者への情報発信が不十分に感じる。特に翌月の予定（特に下校時間）はもっと早いタイミングで共有してほしい。仕事や未就学の子の調整が困難で、下校時間に在住できない場合に留守番をさせざるを得ないのは不安。

学校より スママチでご確認いただきありがとうございます。地域行事には今後も積極的に参加し、親睦を深めて参ります。学年便りは毎月月末に発信し、翌月の予定をお伝えしています。また翌々月の第１週の予定もお伝えしています。それ以上の情報が必要な際は担任からお伝えできますので、早めに聞いていただきご確認ください。

【iPad の接続時間や YouTube の視聴について】

▲iPad による YouTube の視聴を制限できないか。

▲タブレット端末の接続可能時間の設定を家庭ごとに設定できるようにしてほしい。

学校より 区で YouTube の視聴内容については制限をかけているところですが、タブレット端末の接続可能時間は学校で設定するようになっています。桃園第二小学校は夜は午後9時まで、朝は6時から使用可能になっています。個別の設定希望の要望については、区に伝えていきます。視聴する映像については、学校では「学習に関係のあるもの」としていますが、再度指導してまいります。また、これからの時代を生きる子どもたちに対し、情報ツールの使用を禁止するのではなく、情報モラルを身に付けられるよう指導したいと考えています。引き続き努めてまいります。ご家庭でもご指導をよろしくお願いします。

【保護者アンケートについて】

▲アンケートで全体的に何を保護者に聞きたいか全くわかりません。意味なし。先生方が児童をもっと観察して話をするべきです。

▲こういったアンケートも紙ではなく web でできるとよいのかなと感じました。

学校より ご意見をいただきありがとうございました。アンケートの項目は、区で共通のものとなっています。ご理解ください。また、今年度は子どもたちにも学校生活アンケートを実施し、調査をしました。子どもたちの声に答えられるよう努めてまいります。アンケートだけでなく、毎日全教職員で子どもの声に耳を傾けていきます。アンケートを web で行うと、極端に回答率が下がったという事例を聞いているため、本校では、紙で行っています。ご理解いただけますようお願いいたします。

令和5年度 保護者アンケート集計結果　　①十分 ②まあ十分 ③やや不十分 ④不十分

	アンケート内容		わからない
1	お子様は、学校生活を楽しく過ごしている。	56% 92% 36% 5% 2%	1%
2	学校は、特色ある教育活動を推進している。	31% 86% 55% 5% 3%	6%
3	学校は、一人ひとりの児童のよさや可能性を伸ばす教育活動を行っている。	25% 76% 51% 14% 4%	7%
4	学校は、地域の環境や人材を教育活動に生かしている。	43% 85% 42% 7% 1%	6%
5	学校は、児童に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている。	41% 89% 48% 7% 3%	1%
6	学校は、児童の興味・関心や意欲を引き出す授業の工夫をしている。	38% 81% 43% 13% 3%	3%
7	学校は、児童に人とかかわったり、自分の考えを伝えたりする力を育てている。	35% 86% 51% 10% 2%	3%
8	学校は、健康づくり、体力づくりを進めている。	42% 88% 46% 7% 3%	3%
9	学校は、環境問題にかかわる教育活動を行っている。	30% 83% 53% 6% 3%	8%
10	学校は、思いやりや優しい心を育てている。	37% 83% 46% 11% 2%	4%
11	学校は、児童に自他の生命を大切にする心を育てている。	36% 86% 50% 7% 1%	6%
12	学校は、児童に社会のルールを守る態度を育てている。	41% 90% 49% 6% 1%	3%
13	学校は、教育目標や経営方針を保護者や地域にわかりやすく伝えている。	44% 88% 44% 8% 2%	3%
14	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている。	36% 83% 48% 6% 3%	6%
15	学校は、地域・保護者と協力しながら子どもを教育している。	51% 93% 42% 5% 2%	2%
16	学校は、学校公開の機会や学校だより、ホームページなどで、学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている。	57% 93% 36% 6% 0%	2%
17	学校は、子どもや保護者の悩みや相談に応じている。	40% 93% 43% 7% 3%	7%
18	学校は、子どもの安全を守るための取組を行っている。※安全には、防災・防犯だけでなく、いじめや不登校も含まれます。	41% 90% 49% 6% 3%	1%
19	学校は、熱意をもって指導に取り組んでいる。	45% 88% 43% 6% 2%	4%
20	教職員は、来校時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。	64% 95% 31% 4% 1%	1%
21	学校は、一人ひとりの児童の学習成果や生活の様子をわかりやすく伝えている。	38% 82% 44% 14% 3%	2%
22	学校は、特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明をおこなっている。	27% 61% 34% 13% 4%	23%
23	学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。	38% 90% 52% 6% 1%	3%
24	学校は、土曜授業の実施方法を工夫するなどして、教育内容の充実に努めている。	56% 90% 34% 7% 1%	2%
25	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、児童に進学への安心感や、中学校への憧れの気持ちをもたせている。	32% 69% 37% 7% 1%	23%
26	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、授業改善に努め、児童の学力向上、体力向上、心の教育の充実を図っている。	30% 67% 37% 10% 1%	22%
27	学校は、保幼小中連携教育のねらいや様子を、保護者に分かりやすく伝えている。	24% 64% 40% 11% 3%	21%
28	学校は、幼稚園児・保育園児との交流などを通して、児童に小学生になった自覚をもたせている。	31% 69% 38% 8% 4%	20%
29	学校は、幼稚園・保育園・中学校との接続や連携を大切にした教育を視点に授業改善に努めている。	27% 66% 39% 10% 2%	22%
30	児童の基礎的・基本的な学力の定着のため、紙のドリルを一括購入せず、区から提供されたタブレットのドリルを活用しました。これに関してお考えをお聞かせください。①全学年、家庭学習はデジタルドリルのみで十分である。②学年によって紙ドリルとデジタルドリルを併用したほうがよい。③全学年紙のドリルとデジタルドリルを併用したほうがよい。④全学年紙のドリルのみの方がよい。⑤その他	12% 33% 39% 11% **※②、③のタブレットドリルと併用のご意見は肯定的なご意見として捉えさせていただきました。**	5%

※□内の数値は、「十分」「まあ十分」の数値を合計した、肯定的なご意見の割合です。

中野区「文化・芸術体験事業」 東京都「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」

鳳蝶美成様の民踊指導

打越太鼓様の太鼓演奏鑑賞

打越太鼓のみなさんへ
先日はお忙しい中おこしくださり、ありがとうございました。
私は今音楽隊をやっています。その中で私はスネアドラムを使っています。私は拍を聞いたり見たりしないとリズムを合わせるのがむずかしいです。ですが、打越太鼓のみなさんはリズムがあっていてすごいと思いました。動きもそろっていて、なぜだろうと思いました。またぜひ来てください。 5年

川上梨亭様から
書写指導

NAKANO まるごと美術館に向けた絵画鑑賞教室

増渕喜子様から
箏演奏指導

おはなしきいたりいな様による絵本とうたの集い

梅若能楽学院会館での能楽体験

おはなしきいたりいなのみなさまへ
先日は、わたしたちのために来てくださり、ありがとうございました。みなさまの歌声がとてもうつくしかったので、みなさまが歌ってくださったとき、心がはなやかになりました。心にのこったのは秋のメドレーです。高い音とひくい音がまざってとてもきれいでした。今度は会場でおききしたいです。 3年

中野区では、今年度、子どもたちが「文化・芸術体験」を行えるよう予算を配当してくださっています。その目的は、次の通りです。

文化・芸術体験事業の目的

未来を担う子どもたちが、中野の多様な文化・芸術に触れる機会を増やすことで、子どもの豊かな心と感性を育むとともに、伝統的な文化・芸術をはじめとした良質な文化・芸術を次世代へ継承する機会をつくり、文化・芸術の持続的発展につなげる。

また、東京都からは、「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」として、「科学・先端技術等に触れて学ぶ体験」等の体験プログラムを提供していただいています。

本校では、例年行っている特別授業に加え、これらの事業・プロジェクトを活用して、子どもたちの体験学習を充実させました。

子どもたちが書いたお礼の手紙と併せてご紹介いたします。

梅若音楽院のみなさまへ
先日は私たちに能のことについて教えていただきありがとうございました。最初に見た仕舞「屋島」では内容はよく分からなかったけれど、声のひびきや動きの独特さに圧倒されました。小鼓をうってくださった方はとても若いのに、私でも分かるくらい慣れている動きですごく練習しているのだと思いました。舞を教えていただいたとき、扇を開けるのも難しいことが分かりました。難しいことを簡単そうにする能楽師の方々を見習い、私も自分の好きなことや今取り組んでいることをがんばりたいです。 6年

「笑顔を学びの体験活動プロジェクト」
ボールロボ体験

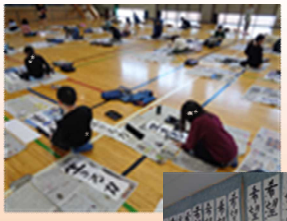
上原慶様から
エイサーの指導

「ミュージック・エデュケーション・プログラム」
トラベル・ブラスクインテット様の金管五重奏コンサート

2/15
朗読セラピーSwimmy 様による馬頭琴の演奏鑑賞
（写真は昨年度の様子）

勇囃連様によるお囃子体験

校内書き初め展　席書会



書き初めは、今年１年の目標や抱負を決意し、字の上達を願って行う正月の行事です。１・２年生は硬筆、３年生から６年生は毛筆に取り組みました。

１２月から、「手本をよく見て、文字を正しく整えて書くこと」を意識し、練習を重ねてきました。子どもたちは冬休み明けに席書会を行い、学習の成果を発揮して清書に取り組みました。

ご多用の中、校内書き初め展にお越し下さり、ありがとうございました。

NAKANO 街中まるごと美術館

１月２０日（土）から２月１８日（日）まで、中野区内の商店街と社会福祉法人愛成会が連携し、２０１０年から毎年開催しているアートイベント『NAKANO 街中まるごと美術館』が行われています。今年は桃園第二小学校がコラボし、街中の各会場で児童たちが作成した音声ガイドや、オリジナルキャラクターが展示されています。オリジナルキャラクターは夏休み中に全校児童を対象に募集をしたもので、音声ガイドは、４年生が実物の作品を見て作った鑑賞文を自分たちの声で録音したものです。ぜひ足をお運びいただき、児童たちの活躍をご覧ください。

協力し合って録音する４年生のようす

消防署見学　３年

１月１６日（火）に中野消防署東中野出張所へ社会科の学習に行きました。消防署では、救助に使っている道具や消防車の構造について教えていただきました。また、救助訓練の様子も見せていただきました。自分たちの安全を守ってくれている方々の存在について学びました。

ジャイアンツアカデミー　４年

１月１５日（月）にジャイアンツのコーチをお招きして、投げ方教室を行いました。「とんとんくるっ」のリズムに合わせて体を動かすと遠くに飛びました。体をうまく使うことの大切さを学びました。今後の学習でも活用していきます。

スナックスクール　５年

１月１８日（木）にカルビー株式会社の方に来ていただき、スナックスクールを行いました。一日に適切なお菓子のカロリーはどのくらいだろう？という問いに、班のみんなで予測したり、手のひらにポテトチップスを乗せて、実際に量を確認したりしました。お菓子を選ぶときには、どこを確認したらよいか、パッケージの見方を教えていただきました。健康的な生活ができるよう、毎日何気なく食べている身近なお菓子と上手に付き合い、「自己管理」をしていく大切さを学びました。

２月の予定

1	木	
2	金	たてわり班活動 そろばん学習（3年）
3	土	
4	日	
5	月	あんぜんデー そろばん学習（3年） 投げ方教室（2年）
6	火	全校朝会
7	水	中野区学校教育研究会 4時間授業（一部の児童は５校時授業後下校）
8	木	B 時程
9	金	児童集会 学校評議委員会
10	土	建国記念の日
11	日	
12	月	
13	火	全校朝会 算数道場
14	水	クラブ活動（4～6年）
15	木	朗読・音楽鑑賞教室
16	金	たてわり班活動（1～5年） 避難訓練
17	土	授業公開（道徳授業地区公開講座）
18	日	
19	月	算数道場（4年）
20	火	全校朝会 避難訓練予備日
21	水	
22	木	命の授業（5年）
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	クラブ活動（4～6年）
27	火	音楽朝会
28	水	
29	木	B 時程

保護者会について　教務主任

今年度最後の保護者会です。子どもたちの1年間の成長の様子を、保護者の皆様と共有する時間にします。ぜひご参会ください。

日時：３月８日（金）

1・2・3年　13:35～14:25（各学級）

4・5・6年　14:30～15:20（各学級）

道徳授業地区公開講座　道徳主任

２月17日（土）に道徳授業地区公開講座を行います。今年度は情報モラルに関するテーマで各クラス授業を行います。子どもたちは、ICT を用いて多くの情報を有効に活用し、他者と関わり、よりよい社会を構築することが求められます。その基となる節度、節制、思いやりなどの内容を取り上げ考えを深めます。

また、2校時には体育館で、目白大学心理学部教授 小野寺敦子先生に「子育てと親子関係の心理学」というテーマでご講演をいただきます。奮ってご参会ください。

６年生を送る会　特別活動主任

３月１日（金）に６年生を送る会を行います。6年生は、日頃から下級生を世話したり、一緒に遊んだりするとともに、最上級生として学校をよくするためにリーダーシップを発揮してきました。また、たてわり班活動では、みんなの意見をよく聞いて、皆が楽しく活動できるように心を配っていました。頑張った6年生に感謝の気持ちを込めて、それぞれの学年がプレゼントを用意したり、出し物を発表したりして、みんなで卒業のお祝いをします。

ももにのUD　特別支援コーディネーター

すべての子どもにとって、分かりやすく学びやすい教育をデザインする「教育のユニバーサルデザイン」を取り入れて、教育活動に生かしています。

環境面では、刺激量を調整するため、前面掲示物をなくし、掲示物の精選 、机・椅子のテニスボールをつけての音の軽減に取り組んでいます。また、ルールを明確化するため、「よいこのやくそく」を作ったり、掃除や配膳の仕方を統一したりして、学級・学年が変わっても子どもたちが混乱しないようにしています。認め合いのできる掲示物の作成、学級活動の時間を使った子どもが認め合う時間の確保、友達の良さを伝え合う活動の実践を行っています。また、すべての教職員が、一人ひとりのすべての子どもたちを大切にし、愛情をもって接することで人的環境のユニバーサルデザインも意識しています。

授業面では、言葉の説明だけでなく視覚的に伝えたいことを伝える視覚化、この時間で何ができるようになればよいのかを明確にする焦点化、学習の課題や良い点や問題点を話し合い全体のものにする共有化を行うようにしています。

学校公開の際には、学校における「教育のユニバーサルデザイン」にも注目してご参観ください。

◎今月の生活目標「健康に注意して生活しよう」　生活指導主任

冬は、風邪が流行る季節です。１月にインフルエンザ流行のきざしがあり心配な時期です。風邪などの予防の基本は、手洗いです。学校では、食事の前、トイレの後に忘れずに手洗いを行うよう指導しています。また、体を鍛えてかぜに負けない体をつくることも大切です。寒い中、休み時間に元気に遊ぶ姿が見られます。運動、規則正しい生活、バランスのよい食事を心がけ、健康な生活を送れるようご家庭でもご協力ください。